

令和3(2021)年度 社会福祉法人あかつき福祉会

【決算書】

社会福祉法人あかつき福祉会

令和3(2021)年度 社会福祉法人あかつき福祉会 決 算 書

目 次

【事業報告書】

あかつき福祉会の1年	1
1. 令和3(2021)年度全体概要報告	2
2. 法人本部(総務課)	4
3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり	
①就労継続支援B型事業	6
②生活介護事業	8
4. わんすてっぷ	10
5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園	
①園管理運営事業	12
②生活介護事業	14
③施設入浴サービス事業	16
④社会福祉増進事業	17
6. 地域生活総合支援センター	
①共同生活援助事業・日中サービス支援型共同生活援助事業・短期入所事業	18
②居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業	20
③相談支援事業	22
7. 事故・苦情・ヒヤリハット等の状況	24
8. 地域参加・交流状況	29
9. 職員研修実施状況	30
10. 実習生受入状況	31
11. ボランティア受入状況	32
12. 視察・見学状況	33
13. 講師派遣状況	34
14. 役員名簿	35
15. 令和3(2021)年度組織図	37
16. 令和3(2021)年度職員内訳	38

【計算書類】

1. 法人単位資金収支計算書	39
2. 法人単位事業活動計算書	40
3. 法人単位貸借対照表	41
4. 計算書類に対する注記	42
5. 決算附属明細書	45
①固定資産管理台帳、固定資産増減明細表	46
②寄附金収益明細表	50
③補助金事業等収益明細書	51
④事業区分間及び拠点区分間繰入金明細書	52
⑤基本金明細書	53
⑥国庫補助金等特別積立金明細書	54
6. 社会福祉事業区分	
①資金収支内訳表	55
②事業活動内訳表	56
③貸借対照表内訳表	57
7. 瀬川拠点区分	
①資金収支計算書	58
②事業活動計算書	60
③貸借対照表	62
④計算書類に対する注記	63
<決算附属明細書>	65
①基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書	66
②引当金明細書	67
③事業活動明細書	68
④積立金・積立資産明細書	70
⑤サービス区分繰入金明細書	71
⑥就労支援事業別事業活動明細書（多機能型事業所等用）	72
⑦就労支援事業製造原価明細書（多機能型事業所等用）	73
⑧就労支援事業販管費明細書（多機能型事業所等用）	74
⑨事業未収金明細表	75
⑩未収収益明細表	75
⑪前払金明細表	75
⑫立替金明細表	75
⑬事業未払金明細表	75
⑭職員預り金明細表	78

8. 西小路拠点区分	
①資金収支計算書	79
②事業活動計算書	81
③貸借対照表	83
④計算書類に対する注記	84
〈決算附属明細書〉	86
①基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書	87
②引当金明細書	88
③事業活動明細書	89
④積立金・積立資産明細書	90
⑤サービス区分繰入金明細書	91
⑥事業未収金明細表	92
⑦事業未払金明細表	92
9. 地域生活総合支援センター拠点区分	
①資金収支計算書	94
②事業活動計算書	96
③貸借対照表	98
④計算書類に対する注記	99
〈決算附属明細書〉	101
①基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書	102
②引当金明細書	103
③事業活動明細書	104
④積立金・積立資産明細書	105
⑤サービス区分繰入金明細書	106
⑥事業未収金明細表	107
⑦前払金明細表	107
⑧事業未払金明細表	107
⑨預り金明細表	108
10. 財産目録	109

令和3(2021)年度 社会福祉法人あかつき福祉会
事業報告書

社会福祉法人あかつき福祉会

あかつき福祉会の1年 - 令和3(2021)年度 -

2021年4月



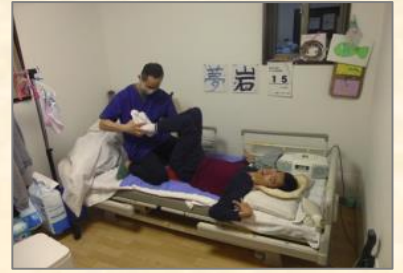
新規ご利用者の歓迎
〈あかつき園・ワークセンターささゆり〉

5月



鯉のぼり飾り〈ささゆり園〉

6月



グループホーム訪問リハビリ
〈支援センター〉

7月



送迎車の洗車
〈あかつき園・ワークセンターささゆり〉



グループホーム感染症対策実地指導
〈支援センター〉

8月



指編みLINEスタンプの作成・販売
〈あかつき園・ワークセンターささゆり〉

9月



夏まつり〈わんすてっぷ〉

10月



施設内歯科健診
〈あかつき園・ワークセンターささゆり〉



園外活動(伊丹スカイパーク)
〈ささゆり園〉

11月



焼き芋・野菜販売
〈あかつき園・ワークセンターささゆり〉

12月



チーム対抗リースコンテストの開催



ボッチャ大会〈ささゆり園〉

2022年1月



ナノミストバス・ヘッドスパの導入
〈あかつき園・ワークセンターささゆり〉

2月



腰痛予防研修 〈ささゆり園〉

3月



ひなまつり 〈わんすてっぷ〉

1. 令和3(2021)年度全体概要報告

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

【法人本部(総務課)】

感染管理の認定看護師による新型コロナ対応の現地指導を、7~8月にグループホーム/瀬川地区/ささゆり園のそれぞれにおいて実施した。実施指導の内容を踏まえて感染症対策の取り組みを見直し、感染症マニュアルにも反映させた。

(2) 法人全体での収支状況

【法人本部(総務課)】

1~2月にかけて、利用者・職員の新型コロナウイルス感染拡大に伴う一部施設の休所及び利用控えの影響が大きく、令和3年度の法人全体での収支差額は228万円に留まった。

(3) コロナ禍での活動

【箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり】

コロナ禍での施設内活動の豊富化のため、施設内のWi-Fi環境を整え、Youtubeなどのオンラインも活用した活動に取り組んだ。

(4) 看護師体制の拡充

【箕面市立障害者福祉センターささゆり園】

医療的ケアが必要な新規利用者3名を4月から受け入れ、医療的ケアニーズがより高まったことから、8月より看護師を常時2名から3名体制に拡充した。

(5) グループホームの欠員補充

【地域生活総合支援センター】

欠員3名となっていたグループホームにおいて、各グループホームで公募、体験入居を実施した結果、10月から1月にかけて3ホームで各1名の新規入居が決まり、定員が全て充足した。

(6) 365日運営グループホームの拡充

【地域生活総合支援センター】

入居者や家族状況をふまえ、9月より新たに1つのグループホームで365日運営を開始した。これにより、365日運営を行うグループホームは、全9ホーム中6ホームとなった。

【令和3(2021)年度実施事業等】

1. 法人本部(総務課)

2. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり <指定管理>

- 【実施事業】 ①生活介護事業 定員 70名
②就労継続支援B型事業 定員 10名

3. わんすてっぷ

- 【実施事業】 生活介護事業 定員 15名

4. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園 <指定管理(④を除く)>

- 【実施事業】 ①園管理運営事業
②生活介護事業 定員 20名
③施設入浴サービス事業
④社会福祉増進事業

5. 地域生活総合支援センター

- 【実施事業】 ①共同生活援助事業 定員 28名
(第2つながりの家)
②日中サービス支援型共同生活援助事業・短期入所事業
(第11つながりの家) 定員 8名
③居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業
(ヘルパーステーション「ウイズ」)
④相談支援事業
(ウイズ)

2. 法人本部（総務課）

(1) 概要

- 新型コロナウイルス感染症対策のため、7～8月に感染管理の認定看護師による実地指導をグループホーム/瀬川地区/ささゆり園それぞれにおいて実施するとともに、指導内容を踏まえた感染症対策を行った。
- 利用者支援記録の様式統一、データベース化を図るため、「障がい福祉分野のICT導入モデル事業」の採択も得て、ノートPC計10台を各通所施設に配布して1月より試行的運用を開始した。
- 1～2月にかけて、利用者・職員の新型コロナウイルス感染拡大に伴う一部施設の休所及び利用控えの影響が大きく、令和3年度の法人全体での収支差額は228万円に留まった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	第三者評価結果への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○評価結果を受けて、各通所施設の支援学校向け及び利用希望者向けリーフレットを9月に作成した。 ○利用者支援記録の様式統一、データベース化を図るため、「障がい福祉分野のICT導入モデル事業」の採択も得て、ノートPC計10台を各通所施設に配布して1月より試行的な運用を開始した。 ○各通所施設の業務マニュアル作成・見直し作業を3月に完了した。また、ボランティアや実習生の受入に関する要綱、地域交流基本方針などの作成も3月に完了した。
2	虐待防止・サービス向上の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○虐待防止セルフチェック（8月・2月）及び虐待防止・サービス向上委員会（9月・3月）を、各年2回継続的に開催した。 ○虐待防止セルフチェック結果改善の取り組みを6月より開始した。 ○令和3年度報酬改定時の制度変更に基づき、身体拘束適正化指針を10月に制定した。また、虐待防止・サービス向上委員会で検討した結果、身体拘束計画のある利用者2名中1名は身体拘束の計画を解除することとした。 ○7月から3月にかけて4グループで事例検討会を開催した。各グループには各施設から検討メンバーを選出し、それぞれ利用者1名を取り上げて支援の改善について検討→実践→振り返りを3回にわたって実施した。
3	感染症対応の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○感染管理の認定看護師による新型コロナ対応の実地指導を7～8月にグループホーム/瀬川地区/ささゆり園において実施した。指導内容をふまえて感染症対策の取り組みを見直し、感染症対応マニュアルにも反映した。 ○大阪府の高齢者施設等従事者PCR検査を、令和3年3月からグループホーム勤務者を対象に、7月から法人の全職員を対象に2週間ごとに実施した。 ○7月から8月にかけて希望する職員80名に対して、施設内でのコロナワクチン接種を実施した。 ○10月以降、3カ月ごとに（緊急時は臨時に）感染症対策委員会を開催し、対応状況の確認や対応策の検討などを行った。
4	防災対応の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○消防（避難）訓練を年2回（瀬川地区9月・2月/ささゆり園9月・1月）に実施した。 ○箕面消防署での救急講習を、11月に計19名の職員が受講した。 ○1月に令和2年度に引き続き1名の職員が防災士資格を取得した（計2名）。 ○3月にBCPの感染症版を作成した。 ○3月に備蓄倉庫の災害対策備品の入替、追加を行った。
5	新長期計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3～7年度の新長期計画を作成し、6月理事会にて承認を受けた。 ○長期計画PTを3カ月ごとに開催し、進捗状況や課題について確認した。
6	人材確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ○「職員採用の取り組み方針」の改訂に取り組んだ。 ○ハローワーク求人やインターネット媒体の活用等により、継続的に人材募集を行った結果、臨時職員6名の採用につながった。 ○令和3年に引き続き、令和4年も申請を行い、経済産業省の「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」の認定を受けることが出来た。
7	地域交流の促進・広報活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍のため、納涼祭は2年続けて中止とした。 ○例年参加している西南ジャンボリー・いきいきふれあい広場も2年続けて中止となった。

7	地域交流の促進・広報活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ブログを年139回（月平均11.5回）更新した。 ○広報誌「あかつきだより」を3カ月ごとに発行した。回覧を依頼する近隣自治会数は44自治会（前年度比26件増）となった。
8	収支状況の改善	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度の「箕面市指定ごみ袋」製造事業収支は▲1,800万円と大幅な赤字であったが、箕面市との単価契約や管理委託契約費用の見直し等の協議・見直しを行い、令和3年度はほぼ±0万円近くまで圧縮できた。 ○あかつき園・ワークセンターささゆりは、利用者の移行や新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設休所等が大きく影響し、生活介護事業の収支差は約▲1,300万円と大幅な赤字となった。 ○わんすてっぷは、利用者減や職員配置の見直し、新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設休所等があり、▲130万円の赤字となった。 ○ささゆり園は、利用者の利用状況が安定していたことから収支差も前年度に引き続いて黒字を確保し、また8月より医療的ケアへの対応強化のため看護師配置を2名→3名に増員して新たな加算も取得したことから、収入が前年度より約350万円増の約8,200万円となった。 ○グループホームは、定員が充足したこと、新たに1ホームを365日運営に移行したこともあり、地域生活総合支援センター全体の収支差は前年度▲460万円の赤字から590万円の黒字に転換した。 ○これらの結果、法人全体での令和3年度収支差は228万円であった。
9	経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○自主事業（生活介護等）の拡大に向けて、情報収集、物件内覧等を行ったが、新規物件の確保には至らなかった。

(3) 今後について

- 原課と連携して、指定管理事業・自主事業の収支改善策を引き続き検討・実施していく。
- 利用者支援記録データベース化に向けた調整を引き続き進め、本実施を図っていく。
- 令和4年度まで指定管理期間が延長されたあかつき園・ワークセンターささゆりについて、次期指定管理やあかつき園建て替えに向けた対応を図っていく。

(4) 理事会・評議員会等開催状況

理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和 3年 6月 9日 ・第2回 令和 3年 6月25日 ・第3回 令和 3年 9月24日 ・第4回 令和 3年11月17日 ・第5回 令和 3年12月17日 ・第6回 令和 4年 3月30日 	<ul style="list-style-type: none"> 案件 = 令和2(2020)年度決算 など 案件 = 理事長選定 など 案件 = 臨時職員就業規則一部改正 など 案件 = 評議員会の召集 案件 = 令和3(2021)年度補正予算 など 案件 = 令和4(2022)年度事業計画及び予算 など
評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和 3年 6月25日 ・第2回 令和 3年10月 6日 ・第3回 令和 3年12月 1日 	<ul style="list-style-type: none"> 案件 = 令和2(2020)年度決算 など 案件 = 役員選任 案件 = 役員解任及び選任
評議員選任 解任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和 3年 6月 9日 	<ul style="list-style-type: none"> 案件 = 評議員選任
運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和 3年 6月 7日 ・第2回 令和 3年12月10日 ・第3回 令和 4年 3月25日 	<ul style="list-style-type: none"> 案件 = 令和2(2020)年度決算 など 案件 = 令和3(2021)年度補正予算 など 案件 = 令和4(2022)年度事業計画及び予算 など

3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり

<就労継続支援B型事業>

(1) 概要

- 製袋事業について、前年度の「箕面市指定ごみ袋」仕様変更に伴って変更となった作業も、作業環境等の見直しで徐々に利用者の作業効率が上がってきた。また、「箕面市指定ごみ袋」の安定供給に向けて箕面市との継続協議、入札実施、製造シェア事業所との調整等を図って対応した。
- コロナ禍でチーム別懇談会は中止としたが、年4回の家族向け「就労B通信」発行やブログ掲載（年5回）等を行い、家族向けの情報発信を行った。
- 10月、箕面市障害者事業団の職員採用募集に利用者3名が応募し、事前に面接・通勤等の練習を実施して試験に臨み、利用者1名が採用となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	コロナ禍での支援の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> ○活動場所を整理し、活動の性質や部屋の大きさ、参加利用者の障害特性等に配慮して活動を提供した。 ○感染防止のため、可能な限り利用者がマスク着用できるよう支援に努めた。 ○Wi-Fi環境を整え、Youtube等を使った活動の充実を図った。
2	外部評価（指定管理アンケート・第三者評価）をふまえた対応	<ul style="list-style-type: none"> ○1日の業務の流れに沿って、業務マニュアルの整備を行った。 ○チーム別懇談会は前年度に引き続き中止としたが、年4回の法人広報誌の配布、年4回の家族向け「就労B通信」の発行やブログ掲載（年5回）等により家族向け情報発信を行った。 ○新たに支援学校向けおよび利用希望者向けの利用案内資料を作成した。 ○専門家の助言・指導（作業療法士2回/月、臨床発達心理士1回/月、嘱託医1回/月）を受けながら、障害特性に応じた支援の改善や職員の資質向上を図った。
3	多様な働く機会や社会生活に必要な経験の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○10月、箕面市障害者事業団の職員採用試験に利用者3名が応募した。事前に面接や通勤等の練習を実施して試験に臨み、利用者1名が採用となった。（就労継続支援B型事業となって初めての就職者となった） ○箕面市障害者事業団での体験実習を実施し、花壇管理、植物リースに1名が延べ10日間（前年度4名・延べ33日間）参加した。 ○新たな作業種として5月よりアルミチューブのリサイクル作業を行った（年度末には生活介護の利用者作業に移行）。
4	製袋事業の安定運営	<ul style="list-style-type: none"> ○前年度の「箕面市指定ごみ袋」仕様変更に伴って変更となった作業も各利用者の習熟度が増し、徐々に作業効率が上がってきた。 ○製袋事業の課題改善に向けて、箕面市と継続的な協議を行うとともに、製造シェア事業所との生産量調整などを行い、計画的な生産を行った。 ○安定供給と費用逓減を図るため、令和3年度は製品等の仕入のための入札を年2回に分けて実施した（例年は年1回）。
5	虐待防止・サービス向上の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○チェックリストに基づく虐待防止セルフチェックを8月と2月に実施した。また、結果をもとに改善計画を作成し、研修実施などにより次回のセルフチェックでの改善につなげた。 ○12月～1月に法人全体で開催した人権研修に5名の職員が参加し、グループワークを通して不適切な支援などについて考える機会を設けた。 ○前年度の事故・ヒヤリハット内容を分析し、9月の虐待防止・サービス向上委員会で報告するとともに職員間で共有した。 ○市内の医療機関と連携し、所内での健康診断、歯科検診を新たに実施した。
6	感染症対応の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○8月に感染症認定看護師による実地指導を受けた。消毒・清掃の要点などの指導を受けて、感染症対応の改善につなげた。 ○利用者の感染防止を図るため、マスクの着用支援や作業環境の見直しなどを行った。
7	利用率向上・収入増に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○新規利用者は1名であった。移行による途中退所者は2名のうち1名は箕面市障害者事業団への就職であった。 ○コロナ禍のため利用者3名が年間20日以上自主休所した。その結果、平均利用率は84.6%（前年度比8.9pt減）となった。 ○訓練給付費収入は961万円（前年度1,214万円）、収支差（就労支援事業を除く）は▲65万円（前年度46万円）であった。

(3) 今後について

- 引き続き製袋事業の安定的な運営に向けて、収支改善の取り組み、安定供給に向けたシェア事業所との調整を図っていく。また、配送拠点の箕面市し尿中継所倉庫が使えなくなったことへの対応として、クリーンセンターの有効活用など配送効率の改善策を検討・実施していく。
- 定員割れしている利用者の確保に向けて、相談支援事業者との連携強化を図っていく。

(4) 主な活動内容

①生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	令和2年度	令和3年度
箕面市指定ごみ袋の生産	92,998,505円	82,810,797円
館内清掃	100,000円	100,000円
計	93,098,505円	82,910,797円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃額（特別工賃を含んで換算）

	令和2年度	令和3年度	前年度比
就労継続支援B型	10,117円	10,058円	99.4%

②施設外支援

実習先	参加人数（実数）	参加延べ日数	職種
箕面市障害者事業団	1名	10日	緑化部門（花壇管理等）

③その他の活動

- 健康活動（ラジオ体操、ウォーキング、ダンス等）
- 創作活動（ペーパークラフト、手芸等）
- 社会活動（地域清掃等）

(5) 在籍者状況（令和4年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
令和3年度	7名	32.1歳	10.9年	84.6%	5.4名
令和2年度	8名	30.1歳	12.1年	93.5%	7.4名

令和3年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	0名	0名	4名	3名	0名	0名

3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり

<生活介護事業>

(1) 概要

- コロナ禍による施設内活動の豊富化のため、施設内のWi-Fi環境を整え、部屋でYoutube等も使った活動に取り組んだ。
- コロナ禍でチーム別懇談会は中止としたが、チーム別機関紙の発行、ブログ掲載（年57回）、ZOOMを用いた個別懇談等により家族向け情報発信・共有を行った。
- コロナ禍のため、利用者7名が年間20日以上自主休所し平均利用率は88.4%（前年度比1.7ポイント減）であった。また、利用者の移行や感染拡大による施設休所等もあり、介護給付費収入は前年度比▲1,426万円、収支差は▲1,303万円であった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	コロナ禍での支援の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> ○活動場所を整理し、活動の性質や部屋の大きさ、参加利用者の障害特性等に配慮して活動を提供した。 ○感染防止のため、利用者がマスク着用等できるよう支援に努め、マスク着用が難しい利用者には距離を取るなどの代替手段の検討・実施を行った。 ○Wi-Fi環境を整え、各部屋でYoutube等を使った活動の充実を図った。
2	外部評価（指定管理アンケート・第三者評価）をふまえた対応	<ul style="list-style-type: none"> ○1日の業務の流れに沿って、業務マニュアルの整備を行った。 ○チーム別懇談会は前年度に引き続き中止としたが、年4回の法人広報誌の配布、チーム別機関紙の発行、ブログ掲載（年57回）、ZOOMを用いた個別懇談等により家族向け情報発信・共有を行った。 ○新たに支援学校向けおよび利用希望者向けの利用案内資料を作成した。 ○専門家の助言・指導（作業療法士2回/月、臨床発達心理士1回/月、嘱託医1回/月）を受けながら、障害特性に応じた支援の改善や職員の資質向上を図った。
3	介護技術の標準化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○1日の業務の流れに沿って、業務マニュアルの整備を行った。 ○「利用者支援概要シート」（個別支援計画に基づく支援の要点など）や個別利用者の支援マニュアルの作成・更新を行うとともに、利用者の状況変化や支援の変更を職員間で共有した。
4	虐待防止・サービス向上の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○チェックリストに基づく虐待防止セルフチェックを8月と2月に実施した。また、結果をもとに改善計画を作成し、研修実施などにより次回のセルフチェックでの改善につなげた。 ○12月～1月に法人全体で開催した人権研修に31名の職員が参加し、グループワークを通して不適切な支援などについて考える機会を設けた。 ○前年度の事故・ヒヤリハット内容を分析し、9月の虐待防止・サービス向上委員会で報告するとともに職員間で共有した。 ○市内の医療機関と連携し、所内での健康診断、歯科検診を新たに実施した。
5	感染症対応の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○8月に感染症認定看護師による実地指導を受けた。消毒・清掃の要点などの指導を受けて、感染症対応の改善につなげた。 ○利用者の感染防止を図るため、マスクの着用支援や作業環境の見直しなどを行った。
6	医療的ケアへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ○看護師を中心に医療的ケアの実施について情報共有を行うとともに、安全な医療的ケアが提供できる体制や環境づくりに努めた。 ○安全委員会を年4回開催した。 ○喀痰吸引研修を職員3名が受講し、利用者1名・延べ2行為の医療的ケアが新たにできるようになった（喀痰吸引等が実施できる生活支援員は計10名）。
7	利用率向上・収入増に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○新規利用者は1名で、移行による途中退所者が2名であった。 ○コロナ禍のため利用者7名が年間20日以上自主休所した。その結果、平均利用率は88.4%（前年度比1.7ポイント減）となった。 ○介護給付費収入は1億8,706万円（前年度2億132万円）、収支差（就労支援事業を除く）は▲1,303万円（前年度668万円）であった。

(3) 今後について

- コロナ禍での敷地内・敷地外活動、支援のあり方を引き続き検討・実施していく。
- 支援学校2年生からの実習受け入れを行うなど、新規利用者の確保に向けた対応を検討・実施していく。
- コロナ禍でも家族との情報共有が図っていけるよう、引き続き機関紙やブログ、Zoomを活用した情報発信などに取り組んでいく。

(4) 主な活動内容

①生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	令和2年度	令和3年度
箕面市指定ごみ袋の生産	1,440,000円	1,440,000円
農園芸	398,731円	398,205円
さをり製品の生産・販売	38,840円	34,544円
指編み製品の生産・販売	4,000円	1,000円
ペットボトル、アルミ缶リサイクル等	82,346円	126,180円
館内清掃	400,000円	400,000円
計	2,363,917円	2,399,929円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃

令和2年度	令和3年度	対前年度比
563円	1,367円	242.8%

②その他の活動

- 健康活動（機能維持訓練、ダンス、ストレッチ、ウォーキング等）
- 日常生活・社会適応訓練（外出を伴うものは実施なし）
- 創作活動（書道、手芸、季節の壁面飾り等）
- 文化活動（音楽療法、音楽活動、音楽・DVD鑑賞、紙芝居等）

(5) 在籍者状況（令和4年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
令和3年度	65名	32.2歳	13.5年	88.3%	57.8名
令和2年度	66名	31.1歳	12.4年	90.1%	61.4名

令和3年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	36名	20名	9名	0名	0名	0名

4. わんすてっぷ<生活介護事業>

(1) 概要

- 利用者の平均年齢が55.1歳と徐々に高齢化が進むに伴い、入院や家庭環境の変化が生じた場合において関係先と連携のうえ対応した。
- 利用者1名が途中退所となったが、年度途中で2名の体験利用を行い、1名の利用者と新規利用契約を行った。
- 利用者1名の途中退所、新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設休所により、介護給付費収入は2,863万円で、前年度比▲362万円の減収となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	コロナ禍での支援の検討・実施	○新型コロナウイルスの感染拡大状況も見ながら、これまで縮小していた外出を伴う活動（ウォーキング、図書館、買い物）を再開した。また、施設内での行事も縮小しながら再開・実施した。
2	第三者評価を参考にした対応	○1日の業務の流れに沿って、業務マニュアルの整備を行った。 ○支援学校向けおよび利用希望者向けの利用案内資料を作成し、各関係者に配布した。
3	虐待防止・サービス向上の取り組み	○チェックリストに基づく虐待防止セルフチェックを8月と2月に実施した。また、結果をもとに改善計画を作成し、eラーニング動画を視聴しての研修、グループワークによる事例検討の実施などにより、次回結果の改善につなげた。 ○12月～1月に法人全体で開催した人権研修に5名の職員が参加し、グループワークを通して不適切な支援について考える機会を設けた。 ○前年度の事故・ヒヤリハット内容を分析し、9月の虐待防止・サービス向上委員会で報告するとともに職員間で共有した。 ○市内の医療機関と連携し、所内での歯科検診を新たに実施した。
4	感染症対応の強化	○8月に感染症認定看護師による実地指導を受けた。消毒・清掃の要点などの指導を受けて、感染症対応の改善につなげた。 ○利用者・職員の感染防止を図るため、施設内消毒、アクリル板設置、施設換気等に加え、支援時の不織布マスク、フェイスシールド着用などの対応を行った。
5	利用率向上・収入増に向けた取り組み	○利用者1名が途中退所となったが、年度途中で2名の体験利用を行い、1名の利用者と新規利用契約を行った。 ○利用者の途中退所、新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設休所により、介護給付費収入は2,863万円で、前年度比▲362万円の減収となった。
6	再編・再整備計画の立案	○自主事業割合の拡大に向けた検討を進め、不動産会社や関係機関から物件情報の収集等を行ったが、物件の確保までには至らなかった。

(3) 今後について

- 利用者の高齢化が進むなかで、引き続き家族・関係機関との情報共有・連携強化に取り組んでいく。
- 自主事業として利用者・利用率の拡大を図るとともに、今後の事業のあり方を検討・実施していく。

(4) 主な活動内容

- ①創作活動（手芸、折り紙、塗り絵、絵画等）
- ②文化活動（音楽鑑賞、ビデオ鑑賞、カラオケ、Wii等）
- ③健康活動（健康診断、体重測定、ストレッチ、ウォーキング、筋力トレーニング、健康観察、血圧・脈拍測定等）
- ④心身を整えるための活動（足浴、爪切り、リラックス、ミストバス等）
- ⑤専門職による相談・指導
（作業療法士・嘱託医への相談、看護師による足爪切り、ダンス指導等）
- ⑥イベント（夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会）

(5) 在籍者状況（令和4年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数	
令和3年度	12名	55.1歳	14.9年	87.8%	9.8名	
令和2年度	14名	54.4歳	16.7年	73.1%	10.9名	
令和3年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	3名	4名	3名	2名	0名	0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<園管理運営事業>

(1) 概要

- 7月に実施した利用者アンケートの意見等をふまえ、10月に館内のWi-Fi設備の更新や3月に防犯カメラの設置、会議室のテーブル・パイプ椅子の買い替えを行った。
- 各種講習会（要約筆記<全3回>、中級音訳<全11回>、初級手話<全35回>）を開催した。
- 3月に「地域で生きる障害者問題市民講座」を開催し、参加者は43名であった。「地域の社会資源を知って、困った時に備えよう！（身近に相談できる人はいますか？）」をテーマに、箕面市を拠点に活躍されている4名の福祉専門職を招いて、講演とパネルディスカッションを行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	各種講習会（要約筆記・音訳・手話）の実施	○要約筆記講習会を全3回実施し、参加者は18名であった。 ○中級音訳講習会を全11回実施し、参加者は4名であった。 ○初級手話講習会を全35回実施し、参加者は15名であった。
2	障害者等の理解促進に係る啓発事業の実施	○3月に「地域で生きる障害者問題市民講座」を開催し、参加者は43名であった。「地域の社会資源を知って、困った時に備えよう！（身近に相談できる人はいますか？）」をテーマに、箕面市を拠点に活躍されている4名の福祉専門職を招いて、講演とパネルディスカッションを行った。 ○コロナ禍のため、例年12月に実施する箕面保育園との餅つき会は実施できなかったが、ささゆり園の園庭にて「芋づるリースの贈呈」や「車椅子体験」での交流を継続した。
3	新規受講者の開拓	○茶道教室（受講者6名）、華道教室（受講者7名）は毎年受講者が固定されている状況であったが、新規利用者の開拓に取り組み、華道教室は8月に新たな受講者が1名増となった。
4	館内の環境整備	○7月に実施した利用者アンケートの意見等をふまえ、10月に館内のWi-Fi設備の更新、3月に防犯カメラの設置、会議室のテーブル・パイプ椅子の買い替えを行った。 ○設備・物品の状態の点検、不要物品の整理を半年毎に実施した。
5	駐車場の改善の検討・協議	○箕面市との協議は継続したが、具体的な運用の実施には至らなかった。
6	園庭の有効活用方法の検討・協議	○箕面市との協議は継続したが、具体的な運用の実施には至らなかった。

(3) 今後について

- 各種講習会、地域交流、障害者に関する啓発事業等を継続的に実施していく。
- 館内の環境整備や駐車場の整備、園庭のあり方などについて、箕面市との協議を継続的に行っていく。

(4) ささゆり園利用状況

	令和2年度	令和3年度	対前年度比
開館日数	321日	320日	99.7%
利用件数	1,212件	1,164件	96.0%
利用件数/日	3.8件	3.6件	94.7%
利用者数	13,516名	12,074名	89.3%
利用者数/件	11.2名	10.4名	92.9%
利用者数/日	42.1名	37.7名	89.5%

事業名	令和2年度		令和3年度		対前年度比 (人数比)	
	件数	人数	件数	人数		
障害者社会参加促進事業	35	212	36	266	125.5%	
[内訳]	①茶道教室	18	100	18	115	115.0%
	②華道教室	17	112	18	151	134.8%
ボランティア育成事業	49	486	48	672	138.3%	
[内訳]	①手話講習会「入門・基礎課程」	38	412	35	530	128.6%
	②音訳講習会<令和3年度：中級>	11	74	10	72	97.3%
	③要約筆記講習会	0	0	3	70	-
啓発事業（障害者問題市民講座）	1	30	1	43	143.3%	
貸館事業	1,127	12,788	1,079	11,093	86.7%	
[内訳]	①障害者団体	518	6,901	472	5,891	85.4%
	②ボランティアサークル	333	3,165	286	2,737	86.5%
	③外郭・行政関係	144	1,802	133	1,540	85.5%
	④その他	121	909	153	887	97.6%
	⑤IT室	11	11	35	38	345.5%
合計	1,212	13,516	1,164	12,074	57.8%	

※会議室等使用団体数(令和4年3月31日現在)

- ・ 定期利用団体：44団体（対前年度比 5増）
- ・ 随時利用団体：7団体（対前年度比 12減）
- 【合計】 51団体（対前年度比 7減）

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<生活介護事業>

(1) 概要

- 医療的ケアが必要な新規利用者3名を4月から受け入れ、医療的ケアニーズがより高まったことから、8月より看護師の配置体制を常時2名から3名体制に拡充した。
- 喀痰吸引研修（実地研修）を7～9月にかけて実施した。職員16名（添乗員含む）が受講し、利用者11名に対して4行為の医療的ケアが実施できるようになった。
- 新規利用者が3名、途中退所者が2名で利用契約者は24名（前年度比+1名）となった。また、コロナ禍の影響により1名が年間を通して自主休所したが、臨時的支援を実施したことや他利用者の利用率が比較的安定していたことから、平均利用率は前年度同様87.5%であった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	多様な活動による支援の実施	○コロナ禍ではあったが、利用者を11グループに分けて感染対策を行いながら、10月に伊丹スカイパーク、みのおキューズモール、万博公園、五月山公園での園外活動を実施した。
2	延長支援の実施	○引き続き、個別支援計画に基づき生活介護の延長支援を男性5名、女性1名について実施した。また、延長支援の時間を活用し、嚥下機能トレーニング等も実施した。
3	入浴支援体制の見直し	○日中活動に重点を置き入浴サービス日や開始時間等を随時調整した。 ○入浴希望者に対して、他の社会資源（ホームヘルパー、訪問入浴）の情報提供も行った。
4	外部評価（指定管理アンケート・第三者評価）をふまえた対応	○1日の業務の流れに沿って、業務マニュアルを整備した。 ○利用者家族との交流会を年3回実施し、前年度の実績報告ほか利用者や施設での取り組みなどに関する情報共有を行った。 ○障害特性に応じた支援の改善や職員の資質向上のため、専門家の助言・指導（作業療法士2回/月、嘱託医1回/月）を受けた。
5	介護職員による喀痰吸引等の実施	○新規利用者など、より多くの利用者に医療的ケアを実施するため、喀痰吸引研修（実地研修）を7～9月にかけて実施した。職員16名（添乗員含む）が受講し、利用者11名に対して4行為の医療的ケアが新たに実施できるようになった。 ○上記研修実施により、生活支援員等の職員17名全員が喀痰吸引等を実施できる体制となった。
6	虐待防止・サービス向上の取り組み	○チェックリストに基づく虐待防止セルフチェックを8月と2月に実施した。また、結果をもとに改善計画を作成し、研修実施などにより次回のセルフチェックでの改善につなげた。 ○12月～1月に法人全体で開催した人権研修に24名の職員が参加し、グループワークを通して不適切な支援などについて考える機会を設けた。 ○前年度の事故・ヒヤリハットの内容を分析し、その対応について9月の虐待防止・サービス向上委員会で報告するとともに、施設内で共有した。 ○市内の医療機関と連携し、園内での健康診断、歯科検診を新たに実施した。 ○医療的ケアが必要な新規利用者3名を4月から受け入れるなど、医療的ケアニーズがより高まったことへの対応として、8月より看護師の配置体制を常時2名から3名体制に拡充した。
7	感染症対応の強化	○8月に感染症認定看護師による実地指導を受けた。消毒・清掃の要点などの指導を受けて、感染症対応の改善につなげた。 ○職員2名の感染者は出たが、施設休所をすることなく、年間を通して営業を継続することができた。
8	医療的ケアのある利用者の地域生活支援の検討	○利用者を通して新たに2件の医療機関等とのつながりを持ち、年3回の家族交流会の場で訪問看護や訪問歯科についての情報を提供した。
9	利用率向上・収入増に向けた取り組み	○新規利用者が3名、途中退所者が2名で年度末の利用契約者数は24名となった。 ○コロナ禍の影響により1名が年間を通して自主休所したが、臨時的支援を実施したこと、他利用者の利用率が比較的安定していたことから、平均利用人数は前年度同様17.5名であった。 ○介護給付費収入は8,228万円（前年度7,867万円）となり、収支差は993万円（前年度1,376万円）であった。

(3) 今後について

- コロナ禍での敷地内・敷地外活動、支援のあり方を引き続き検討・実施していく。
- 高まる医療的ケアニーズに対応できるよう、引き続き看護師確保を行い、常時3名体制を維持していく。
- 医療的ケアをはじめ利用者の健康管理を細めに行い、90%前後の平均利用率を維持していく。

(4) 主な活動内容

- ①行事等（プール、園外活動、忘年会、クリスマス会、年度末イベント等）
- ②健康活動（エクササイズ、足浴、エアマット、ハンモック、スノーズレン、健康診断等）
- ③創作活動（さをり織り、組み紐、季節毎の展示物作成等）
- ④文化活動（楽器演奏、カラオケ、コンサート、ボウリング、ボッチャ、園芸活動等）
- ⑤屋外活動（個別外出、散歩、清掃活動等）
- ⑥作業活動（空き缶つぶし等）
- ⑦専門職による相談・指導（作業療法士・嘱託医への相談、音楽療法等）

(5) 医療的ケアの実施状況（令和3年度 利用対象者 16名）

内 容		人数	内 容		人数
たんの吸引	口腔内	14名	酸素投与（緊急時含む）		3名
	鼻腔内	10名	人工呼吸器管理		2名
	気管カニューレ内部	6名	バイパップ		1名
経管栄養	胃ろう	7名	カフアシスト		2名
	腸ろう	2名	ブジー		1名
	経鼻胃管	2名	浣腸（摘便）		1名
経管による与薬	胃ろう	3名	留置カテーテル		1名
	腸ろう	1名	導尿		1名
	経鼻胃管	1名			
吸入		1名	合 計（延べ人数）		59名

(6) 在籍者状況（令和4年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数	
令和3年度	24名	40.0歳	10.1年	87.7%	17.5名	
令和2年度	23名	42.3歳	10.6年	90.6%	17.5名	
令和3年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	24名	0名	0名	0名	0名	0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<施設入浴サービス事業>

(1) 概要

- 利用契約者数は9名（前年度11名）、平均利用者数/日は2.1名（前年度2.4名）であった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	サービスの質的向上	○入浴ヘルパー1名を採用し、新任研修及び介護技術指導を4回実施した上で入浴業務に従事させた。
2	入浴設備更新の検討	○10月及び12月に入浴設備（特殊浴槽の担架専用スポンジマット、バッテリー）、3月に浴室用介護リフトを更新した。
3	利用方法等の検討・協議	○利用年限、利用回数等の基準について箕面市との協議には至らなかった。
4	入浴ヘルパーの確保	○継続的に募集の取り組みを行い1名を採用したが定着には至らず、前年度に引き続き、入浴ヘルパーは男性2名、女性1名体制であった。 ○入浴ヘルパーだけで対応できない時は、生活介護事業の職員で対応した。

(3) 今後について

- 入浴設備の点検を行うとともに、箕面市と協議しながら必要に応じて設備の更新を行っていく。
- 入浴利用者に対して、ニーズを把握するとともに、必要に応じて他の社会資源の情報提供や調整を行い、居宅介護、訪問入浴サービス等への移行促進も行っていく。

(4) 施設入浴サービス利用状況

	令和2年度	令和3年度	対前年度比
実施日数	243日	242日	99.6%
利用者数	589名	510名	86.6%
利用者数/日	2.4名	2.1名	87.5%

(1) 概要

- 大阪府登録喀痰吸引等研修機関として、実地研修及び修了申請事務を実施した。
- 令和3年度の修了者数は、延べ43名（全員が当福社会職員）であった。

6. 地域生活総合支援センター

＜共同生活援助事業・日中サービス支援型共同生活援助事業・短期入所事業＞

(1) 概要

- 入居者の高齢化・重度化による通院負担の軽減や緊急時の医療連携強化を図るため、グループホームで訪問診療・訪問歯科・訪問リハビリ・訪問看護を6名・延べ9件導入した（前年度4名、延べ7件）。
- 9月より第2つながりの家において365日運営を開始した。これにより365日運営のグループホームは、9ホーム中6ホームとなった。
- 欠員3名に対してそれぞれのグループホームにて公募、体験入居を実施した結果、定員はすべて充足した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	入居者の高齢化・重度化への対応	○入居者の高齢化・重度化による通院負担の軽減や緊急時の医療連携強化を図るため、グループホームで訪問診療・訪問歯科・訪問リハビリ・訪問看護を6名・延べ9件導入した（前年度4名、延べ7件）。 ○入居者1名が高齢化・重度化に伴い、介護保険施設へ移行した。
2	余暇支援の充実	○余暇活動計画や個別支援計画に基づき、GH利用者に対する移動支援を年間で315件、1,128時間（前年度273件、940時間）実施した。コロナ禍のため、前年度に引き続き短い時間数に止まった。 ○コロナ禍により、休日運営に伴うGH行事は全て中止した。
3	世話人との連携強化	○前年度に引き続き、サービス管理責任者の月1回以上のGH訪問や電話やメールでの連絡を継続的に実施した。 ○世話人会議をほぼ毎月オンラインで開催し、情報共有や研修を行った。
4	欠員補充	○グループホームの欠員3名に対して、公募、体験入居を実施した結果、10月～1月にかけて3ホームで各1名の新規入居が決まり、定員は全て充足した。
5	登録ヘルパー等の確保	○登録ヘルパー5名、派遣職員4名を新たに確保した。
6	利用率向上・収入増に向けた取り組み	○コロナ禍の影響により多くの利用自粛があったが、臨時的支援（12名、延べ271日）を実施し、利用者の状況把握と報酬算定に繋げた（前年度8名、延べ255日）。 ○第2つながりの家において、9月より365日運営を開始した。これにより365日運営のGHは、9ホーム中6ホームとなった。 ○365日運営を行っていない3つのGHにおいては祝前日運営を計6日間行い、延べ55名が利用した。（前年度6日、延べ50名利用） ○5月の連休時や年末年始における1日あたりの平均利用者数は11.8名（前年度11.7名）で、前年度と大きな変化はなかった。 ○欠員補充を行ったこともあり、訓練給付費収入は9,972万円（前年度9,486万円）となった。
7	再編・再整備計画の立案	○各ホームの集約化等について検討・物件探しを行ったが、適当な物件の確保には至らなかった。

(3) 今後について

- 入居者の高齢化・重度化による通院負担の軽減や緊急時の医療連携強化をさらに図るため、訪問系サービスや医療系サービスとの連携・活用をさらに図っていく。
- コロナ禍の状況も鑑みながら、余暇支援のあり方を再検討・実施していく。
- グループホームの集約や再整備について引き続き検討・実施していく。

(4) 在籍者状況（令和4年3月31日現在）

①第2つながりの家

	在籍者数	平均年齢	平均利用率	平均利用人数
令和3年度	28名	47.8歳	81.4%	21.9人
令和2年度	27名	48.3歳	80.4%	22.5人

令和3年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	5名	7名	7名	7名	2名	0名

②第11つながりの家

	在籍者数	平均年齢	平均利用率	平均利用人数
令和3年度	8名	50.5歳	97.0%	7.2人
令和2年度	7名	52.6歳	97.8%	6.9人

令和3年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	0名	7名	1名	0名	0名	0名

短期入所利用状況	年間延べ利用者数
	51名

6. 地域生活総合支援センター

＜居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業＞

(1) 概要

- 居宅介護は、前年度に引き続きコロナ禍の影響で複数利用者の利用自粛があり、年間の提供時間は3,487.5時間（前年度3,450.5時間）であった。
- 移動支援は、引き続きコロナ禍のため全体的に縮小せざるを得なかったなかで、年間の提供時間は1,379時間（前年度1,175時間）、提供回数は386回（前年度360回）であった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	GHにおける居宅介護サービスの充実	○前年度に引き続きコロナ禍の影響で複数利用者の利用自粛があり、年間の提供時間は3,487.5時間（前年度3,450.5時間）であった。 ○通院等介助の契約者は21名で、通常の通院に加えてコロナワクチン接種対応を行ったこともあり、年間の提供時間は437時間（前年度316.5時間）となった。
2	GHにおける余暇支援の充実	○コロナ禍の影響で引き続き、全体的に縮小せざるを得なかったなかで、移動支援の提供時間は1,379時間（前年度1,175時間）、提供回数は386回（前年度360回）であった。そのうち、GH利用者に対する移動支援の提供時間は余暇活動計画や個別支援計画に基づき年間で315件、1,128.5時間（前年度273件、940時間）であった。
3	登録ヘルパー等の確保・育成	○男性2名の有資格ヘルパーを確保した。
4	有資格従事者の確保・育成	○男性2名の有資格ヘルパーを確保した。 また、しばらく勤務がなかった女性の有資格ヘルパー1名が再び勤務を開始することに合わせて、改めて研修等を実施した。
5	収入増に向けた取り組み	○居宅介護事業全体の介護給付費収入は2,615万円（前年度2,573万円）であった。

(3) 今後について

- コロナ禍の状況も鑑みながら、余暇支援のあり方を再検討・実施していく。
- グループホーム利用者のニーズの把握に努め、居宅介護や移動支援の提供時間の増加に繋げていく。

(4) ヘルパー派遣状況（令和4年3月31日現在）

単位：時間

	居宅介護			身体介護	同行援護
	通院等介助		合計		
	(身体介護なし)	(身体介護あり)			
令和3年度	15.0	422.0	437.0	3,487.5	129.0
令和2年度	10.0	306.5	316.5	3,450.5	14.5

	移動支援		
	I類	II類	合計
	(身体介護なし)	(身体介護あり)	
令和3年度	1,286.5	92.5	1,379.0
令和2年度	1,026.5	148.5	1,175.0

6. 地域生活総合支援センター〈相談支援事業〉

(1) 概要

- 福祉サービスの利用、健康・医療、家族関係・人間関係に関する相談を含め、1,505件（前年度比197件増）の相談に対応した。
- 福祉サービス利用のなかった在宅の障害者市民2名への支援の結果、福祉サービスの利用（日中活動先の利用）に繋がった。
- 家族の高齢化・入院等に伴い、家族に代わって関係機関と調整を図るケースは増加傾向にあり、引き続きその対応を行った（継続的には3名）。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	支援内容の検討	○居宅介護サービスの利用者4名について、モニタリング期間を各人の状況に応じて、6ヵ月毎から3ヵ月毎に見直しを行った。
2	困難事例への対応	○福祉サービス利用のなかった在宅の障害者市民2名への支援を行い、福祉サービスの利用（日中活動先の利用）に繋がった。 ○虐待事例（疑いも含む）について、引き続き家族間の様子の確認や日中活動先との情報共有のもと、適度な距離感を持てるようにサービス等の調整を行った。 ○家族の高齢化・入院等に伴い、家族に代わって関係機関と調整を図るケースは増加傾向にあり、引き続きその対応を行った。（継続的には3名）
3	支援の質的向上	○多職種連携を必要とするケースへの実践を通じて知識・経験を蓄積し、今後の事例に活かせるように努めた。 ○強度行動障害の利用者に対し、適切な評価をしてサービス等の計画を作成するため、相談支援専門員1名が「強度行動障がい支援者養成研修（基礎・実践）」を修了した。
4	相談支援専門員の確保	○相談支援専門員資格に係る「初任者研修」を1名受講予定としていたが、他業務との兼ね合いから受講を見送った。
5	業務体制の見直し	○前年度に引き続き、2名体制で契約利用者104名に対して継続的な支援を行った。（他市転居2名・死去2名、新規契約者3名で年間では1名減）
6	収入増に向けた取り組み	○福祉サービスの利用、健康・医療、家族関係・人間関係に関する相談を含め、1,505件（前年度比197件増）の相談に対応した。 ○利用者本人の状況を直に把握するため、コロナ感染状況が落ち着いた時期を中心に事業所への訪問を進めた。これにより293件中、53件においてモニタリング加算を算定することができ、給付費収入は619万円（前年度比+140万円）となった。

(3) 今後について

- モニタリングのあり方や業務効率化を引き続き検討・実施していく。
- 困難事例への対応については、関係機関と連携し多様な観点からの支援策を検討していく。
- 強度行動障がい支援者養成研修（基礎・実践）を修了した職員を相談支援専門員として配置し、適切な評価、計画の作成ができるよう取り組んでいく。
- 相談支援の利用契約者のモニタリングに関して、計画通りに実施できるよう進捗管理を行っていく。

(4) 相談状況（令和4年3月31日現在）

①相談経路別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
訪問	18	200	164	13	395
来所	4	107	10	2	216
同行	0	32	24	0	56
電話	9	405	373	11	798
電子メール	0	5	1	1	7
個別支援会議	0	7	1	0	8
関係機関	0	0	5	0	5
その他	0	10	10	0	20
合計	31	766	681	27	1,505

※児童の相談件数は0件

②相談内容別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
福祉サービスの利用	11	449	434	20	914
障害・病状の理解	0	33	26	1	60
健康・医療	6	124	76	2	208
不安解消・情緒安定	1	81	48	2	132
家族関係・人間関係	3	30	46	1	80
家計・経済	9	13	10	0	32
生活技術	0	23	10	1	34
就労	0	2	6	0	8
社会参加・余暇活動	1	3	0	0	4
権利擁護	0	0	19	0	19
その他	0	8	6	0	14
合計	31	766	681	27	1,505

※児童の相談件数は0件

7. 事故・苦情・ヒヤリハット等の状況

(1) 苦情解決システムに基づく対応

苦情解決システムに基づき対応した事案はなかった。

(2) 事故・苦情・ヒヤリハットの取りまとめ状況

①事故

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
誤薬・誤飲	地域生活総合支援センター	6件	内容 与薬忘れ、誤薬 原因 確認不足	与薬確認の徹底
合計		6件		

怪我	あかつき園・ワークセンターささゆり	1件	内容 打撲・擦過傷・出血 原因 職員の不注意、利用者の状況把握不足、環境不備	安全配慮の徹底 環境整備
	わんすてっぷ	1件	内容 擦り傷 原因 利用者の状況把握不足	安全配慮の徹底 利用者の体調把握
	ささゆり園	3件	内容 骨折、打撲、擦過傷 原因 利用者の状況把握不足、 職員の不注意	安全配慮の徹底 環境整備
	地域生活総合支援センター	1件	内容 打撲 原因 環境配慮不足	安全配慮の徹底 環境整備
合計		6件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
他傷行為による怪我	あかつき園・ワークセンターささゆり	4件 (うち対職員3件)	内容 蹴る、噛む、引き倒す、砂をかける 原因 安全配慮不足 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者の心的状態の適切な把握 安全配慮の徹底 環境整備 障害特性に関する支援スキルの向上
合計		4件		

自傷行為による怪我		0件		
合計		0件		

器物損壊	あかつき園・ワークセンターささゆり	3件	内容 ガラスを蹴り、叩き破る 原因 安全配慮不足 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者の心的状態の適切な把握 安全配慮の徹底 環境整備 障害特性に関する支援スキルの向上
	地域生活総合支援センター	1件	内容 車椅子操作を誤り破損 原因 職員の不注意	安全配慮の徹底 支援スキルの向上
合計		4件		

無断外出	あかつき園・ワークセンターささゆり	1件	内容 送迎車乗車場所に利用者が不在、一時所在確認できなかった 原因 利用者の状態把握不足	安全配慮の徹底 利用者の心的状態の適切な把握
合計件数		1件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
車両事故	あかつき園・ワークセンターささゆり	5件	内容 対物接触 原因 確認不足	安全運転の徹底
	ささゆり園	3件	内容 対物接触、脱輪 原因 確認不足	安全運転の徹底
合計件数		8件		

その他	(あかつき園・ワークセンターささゆり)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者による非常ベル誤発報 1件 ・身体介護中の転倒 1件 ・送迎車両乗車忘れ 1件 ・てんかん発作に伴う緊急搬送 1件 ・抑肝散の副作用に伴う救急搬送 1件 			
	(わんすてっぷ)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・給食異物混入 1件 			
	(ささゆり園)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・給食異物混入 2件 ・注入チューブ装着忘れ 1件 ・吸引器の落下 1件 ・吸引用水道瓶落下 1件 ・借用物品（ポッチャ用具）の破損 1件 ・留置カテーテル接続部の外れ 1件 ・送迎車両乗車忘れ 1件 			

②苦情

部署	件数	内容	原因	解決状況
あかつき園・ワークセンターささゆり	1件	送迎車の敷地内駐車中の騒音にするもの	マイクロバスの長時間のアイドリングによる騒音	職員への指示徹底
地域生活総合支援センター	1件	家族との連絡対応に関するもの	担当者による確認不足	確認の徹底
合計件数	2件			

③ヒヤリハット

部署	件数	内容	
あかつき園・ワークセンター ささゆり	143件	<ul style="list-style-type: none"> * 自傷行為・他傷行為に至る恐れがあった事案 * 器物破損の恐れがあった事案 * 怪我する恐れがあった事案 * 転倒・転落の恐れがあった事案 * 所在不明に繋がる恐れのあった事案 * 異食に繋がる恐れのあった事案 * 送迎漏れに繋がる恐れがあった事案 * 注入漏れに繋がる恐れがあった事案 * 薬の管理方法を見直す必要があった事案 	121件 8件 4件 3件 2件 2件 1件 1件 1件
わんすてっぷ	8件	<ul style="list-style-type: none"> * 怪我する恐れがあった事案 * 服薬の誤認を招く恐れのあった事案 * 利用者の持ち物を紛失する恐れがあった事案 * 身体症状に影響する恐れがあった事案 	5件 1件 1件 1件
ささゆり園	36件	<ul style="list-style-type: none"> * 確認不足により事故等に繋がる恐れがあった事案 * 転倒の恐れがあった事案 * 身体症状に影響する恐れがあった事案 * 物品忘れにより事故等に繋がる恐れがあった事案 * 誤飲・誤食・誤薬に繋がる恐れがあった事案 * 怪我する恐れがあった事案 	15件 7件 5件 4件 3件 2件
地域生活総合支援センター	38件	<ul style="list-style-type: none"> * 利用者に不利益が生じる恐れがあった事案 * 誤薬・服薬忘れに繋がる恐れがあった事案 * 怪我する恐れがあった事案 * 転倒・転落の恐れがあった事案 * 所在不明に繋がる恐れがあった事案 * 身体症状に影響する恐れがあった事案 * 誤飲食に繋がる恐れがあった事案 * 現金帳の金額に誤差が生じる恐れがあった事案 * 器物損壊に繋がる恐れがあった事案 	18件 8件 4件 2件 2件 1件 1件 1件 1件
合計件数	225件		

8. 地域参加・交流状況

(1) 納涼祭 (主催：あかつき福祉会)

コロナ禍のため中止。

(2) 西南ジャンボリー

(主催：西南ジャンボリー実行委員会、西南小校区青少年を守る会)

コロナ禍のため中止。

(3) いきいきふれあい広場 (主催：西南小地区福祉会)

コロナ禍のため中止。

9. 職員研修実施状況

(1) 法人全体研修

実施日	研修内容	参加者	講師
令和3年11月16～17日 (計2回)	救急講習	19名	箕面市消防本部
令和3年12月8日～22日 (計8回)	虐待防止に関するケーススタディ (令和3年度人権研修)	97名	当福社会職員
令和3年12月9日	防犯訓練	14名	箕面警察署
令和4年2月25日	腰痛予防研修	17名	嘱託作業療法士
	合計	147名	

(2) 事業・施設別外部研修参加状況

※人数は延べ人数

部署	令和2年度	令和3年度
法人本部	10名 (5件)	9名 (8件)
あかつき園・ワークセンターささゆり	27名 (8件)	36名 (14件)
わんすてっぷ	0名 (0件)	1名 (1件)
ささゆり園	29名 (8件)	21名 (9件)
地域生活総合支援センター	9名 (5件)	43名 (24件)
合計	75名 (26件)	110名 (56件)

	研修内容
法人本部	財務分析の基本セミナー、ICT研修会、理事長・施設長セミナー、電子帳簿保存法セミナー、インボイス制度研修、年金委員研修会、広報研修会、箕面市人権セミナー
あかつき園・ワークセンターささゆり	福祉職員研修 (初任者)、サービスマナーセミナー (初級)、成人施設課程 (基礎コース)、障害者施設課程 (通所コース)、てんかん基礎講座、発達障害の理解と対応、重症心身障害児者への3大ケア、5法人ジョイントセミナー、大阪府相談支援従事者初任者研修 (2日間課程)、大阪府サービス管理責任者等基礎研修、大阪府サービス管理責任者等更新研修、大阪府食品衛生責任者養成講習会、成人施設課程 (応用コース)、箕面市人権セミナー
わんすてっぷ	サービス管理責任者等更新研修
ささゆり園	障がい等福祉従事者研修、対人援助専門職講座、感染症研修会、安全運転管理者講習、防護具着脱研修、びわこ学園実践研究発表会 (オンライン研修)、防災士研修、箕面市肢体不自由児者父母の会研修、箕面市人権セミナー (障害者問題市民講座)
地域生活総合支援センター	クラスサービスマナーセミナー (中級リーダー)、地域福祉コーディネーターのための基礎研修、包括的な支援体制整備について、施設職員の心のケアを考える講座 (一般職)、障がい等福祉従事者研修 (世話人)、「認知機能が十分でない方のための出張法律相談」を学ぼう、てんかん基礎講座、大阪府強度行動障がい支援者養成研修 (基礎研修)、地域共生社会の実現に向けて、福祉職員研修 (中堅職員)、大阪府相談支援従事者初任者研修 (2日間課程)、障がい児・者施設専門ゼミナール、大阪府強度行動障がい支援者養成研修 (実践研修)、リスクマネジメント研修会、個人情報保護研修会 (基礎)、個人情報保護研修会 (応用)、相談支援・就業支援セミナー、福祉職員の心のケアを考える講座 (テーマ別)、障がい児者施設課程及び成人施設課程 (テーマ別)、働くADHDママ～経理をやってみた～、大阪府サービス管理責任者等基礎研修、大阪府サービス管理責任者等実践研修、福祉現場におけるケース記録の書き方、箕面市人権セミナー

※部門内研修は別途実施

10. 実習生受入状況

(1) 進路支援に係る実習

施設・事業	実習元	実人数	延べ日数	目的
わんすてっぷ	相談支援事業者	2名	4日	利用契約に向けた体験利用
ささゆり園	箕面支援学校	3名	3日	支援学校卒業後の進路先の検討
	合計	5名	7日	

(2) その他

施設・事業	実習元	実人数	延べ日数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面学園福祉保育 専門学校	2名	2日	介護実習
	関西保育福祉専門 学校	1名	10日	介護実習
わんすてっぷ	箕面学園福祉保育 専門学校	2名	6日	介護実習
ささゆり園	箕面学園福祉保育 専門学校	1名	1日	介護実習
	あかつき福祉会	2名	2日	入職時実習（新入職員）
	合計	8名	21日	

11. ボランティア受入状況

施設・事業	受入内容	受入回数	延べ受入者数
あかつき園・ ワークセンターささゆり	日中活動（農園）	2回	2名
	音楽コンサート	1回	1名
	合 計	3回	3名

12. 視察・見学状況

(1) 受入状況

施設・事業	視察・見学元	人数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面支援学校	5名	卒業後の進路先の検討
	他市相談支援事業所	2名	移行先の検討
	相談支援事業「ウイズ」	5名	移行先の検討
	とよの権利擁護センターとも	2名	施設見学
	相談支援支援センターみーな	2名	移行先の検討
	関西学院大学	1名	施設見学
わんすてっぷ	茨木支援学校（家族等含む）	6名	施設見学
ささゆり園	箕面支援学校	6名	卒業生のアフターフォロー 卒業後の進路先の検討
	障害のある方等	4名	施設見学
	大阪教育大付属池田中学校生徒	6名	施設見学
	入浴ヘルパー希望者	2名	施設見学
	箕面保育園	29名	地域交流、車椅子体験等
	合 計	70名	

(2) 視察・見学実施状況

施設・事業	視察・見学元	人数	目的
地域生活総合支援 センター	2ndプレイス（就B）	1名	施設見学
	Sunはーと（就労継続支援A型）	1名	施設見学
	Sunゆにてい（生活介護）	2名	施設見学
	ラシエル（日中サービス支援型GH）	2名	施設見学
	三恵園（入所施設）	1名	施設見学
	わおん（GH）	1名	施設見学
	合 計	8名	

13. 講師派遣状況

派遣先	件名	派遣講師
一般財団法人 大阪府地域福祉推進財団	サービス管理責任者等基礎研修	家村 昇平
	サービス管理責任者等更新研修	居川 直人

14. 役員名簿（令和4年3月31日現在）

(1) 理事

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
理事長	奥村 一朗	箕面ライオンズクラブ	会員	事業区域の福祉に通じる者
理事	石田 良美	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会	会長	社会福祉事業経営の識見を有する者
理事	太田 克己	箕面市民生委員児童委員協議会	会長	事業区域の福祉に通じる者
理事	吉田 功	元 箕面市職員		事業区域の福祉に通じる者
理事	村田 尚記	箕面市健康福祉部	副部長	事業区域の福祉に通じる者
理事	木村 勝也	社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団	事務局長兼事務センター長	社会福祉事業経営の識見を有する者
理事	福田 寛久	社会福祉法人あかつき福祉会 わんすてっぷ	所長	施設管理者

(2) 監事

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
監事	寺内 勇	社会福祉法人翠明社	監事	社会福祉事業の識見を有する者
監事	大倉 英樹	社会福祉法人慶徳会	事務局長	財務管理の識見を有する者
監事	星原 講史	箕面市会計室	会計管理者	財務管理の識見を有する者

(3) 評議員

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
評議員	島谷 都夫	西南小地区福祉会	副会長	地域の福祉関係者
評議員	下司 良一	一般財団法人箕面市障害者事業団	副局長	地域の福祉関係者
評議員	榎本 浩之	社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団 明光ワークス	所長	地域の福祉関係者
評議員	植田 恵美子	社会福祉法人息吹	理事長	社会福祉事業の経営者
評議員	亀谷 雅彦	元 社会福祉法人あかつき福祉会 職員		地域の福祉関係者
評議員	木村 知也	箕面ロータリークラブ	プログラム 委員長	地域の福祉関係者
評議員	寛 加代	社会福祉法人あおば福祉会 瀬川保育園	園長	社会福祉事業の経営者
評議員	榎原 淳子	箕面市肢体不自由児者父母の会	会長	地域の福祉関係者

(4) 評議員選任・解任委員会委員

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
評議員 選任・解任 委員会委員	寺内 勇	社会福祉法人翠明社	監事	監事
評議員 選任・解任 委員会委員	東 有希子	社会福祉法人あかつき福祉会 箕面市立あかつき園・ワークセンターささ ゆり、地域生活総合支援センター	所長	事務局員
評議員 選任・解任 委員会委員	多田 育雄	元 NPO法人監事		外部委員

(5) 運営協議会委員

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
運営協議 会委員	名淵 須和子	箕面手をつなぐ親の会	副会長	理事長が適当と認める者
運営協議 会委員	羽藤 隆	箕面市身体障害者福祉会	会長	理事長が適当と認める者
運営協議 会委員	日根 真理	箕面市西南小校区青少年を守る会	幹事	地域の代表者
運営協議 会委員	平安 幸子	日本赤十字奉仕団（箕面）	団員	地域の代表者

16. 令和3(2021)年度職員内訳

令和4年3月31日現在

部 署	正規職員	支援職員	臨時職員	合 計
法人本部	2名	3名	1名	6名
あかつき園・ワークセンターささゆり	10名	17名	30名	57名
わんすてっぷ	2名	3名	2名	7名
障害者福祉センターささゆり園	2名	9名	11名	22名
地域生活総合支援センター	3名	14名	9名	26名
合 計	19名	46名	53名	118名

注) 臨時職員数には送迎車運転・添乗等の短時間勤務職員を含み、派遣職員は含まない。
その他、登録職員26名(実質稼働者数)